

令和3年度農作物病虫害発生予察技術資料第1号

令和3年(2021年)4月16日
山口県病虫害防除所

タマネギベと病の発生状況と防除対策について

タマネギベと病については、令和3年2月26日発令の「令和2年度農作物病虫害発生予察注意報第6号」で防除の徹底をお願いしているところですが、3月の気温が平年に比べ高く推移し、二次感染株の発生が急速に拡大しています。

今後も、気温の上昇に伴い発生拡大が懸念されることから、下記のとおり防除対策の徹底をお願いします。

記

1 発生状況

4月中旬の巡回調査では、発生ほ場率44.0%（平年10.0%）、発病株率12.2%（平年1.7%）で、3月下旬から急激に発生が拡大し平年に比べ多かった（図1、2）。

2 防除対策

- (1) ほ場をよく見回り、二次感染株（写真1、2）を確認した場合は、治療効果のある薬剤（殺菌剤コード4,11,40等）で直ちに防除を行う（表）。
- (2) 二次感染が確認されない場合は、マンゼブ剤（殺菌剤コードM03）等の保護殺菌剤を組み合わせ計画的な防除を行う（表）。
- (3) 畝間に滞水しないよう排水対策を実施する。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 本病に登録のある薬剤は混合剤が多いことから、一般名（成分名）及び殺菌剤コードを確認し、同一系統の薬剤を連用しないようにする。また、同一有効成分の使用回数に注意する。
- (2) 薬剤の付着をよくするため、水和剤は展着剤を加用し、十分な液量で防除する。
- (3) 薬剤防除を行う場合は、周辺の作物に農薬が飛散しないように注意する。
- (4) 令和2年度農作物病虫害発生予察注意報第6号（タマネギベと病）を参照のこと。
https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17201/nougyou/shigen/tyuuihou_keihou.html



写真1 タマネギベと病二次感染株



写真2 二次感染株の病斑

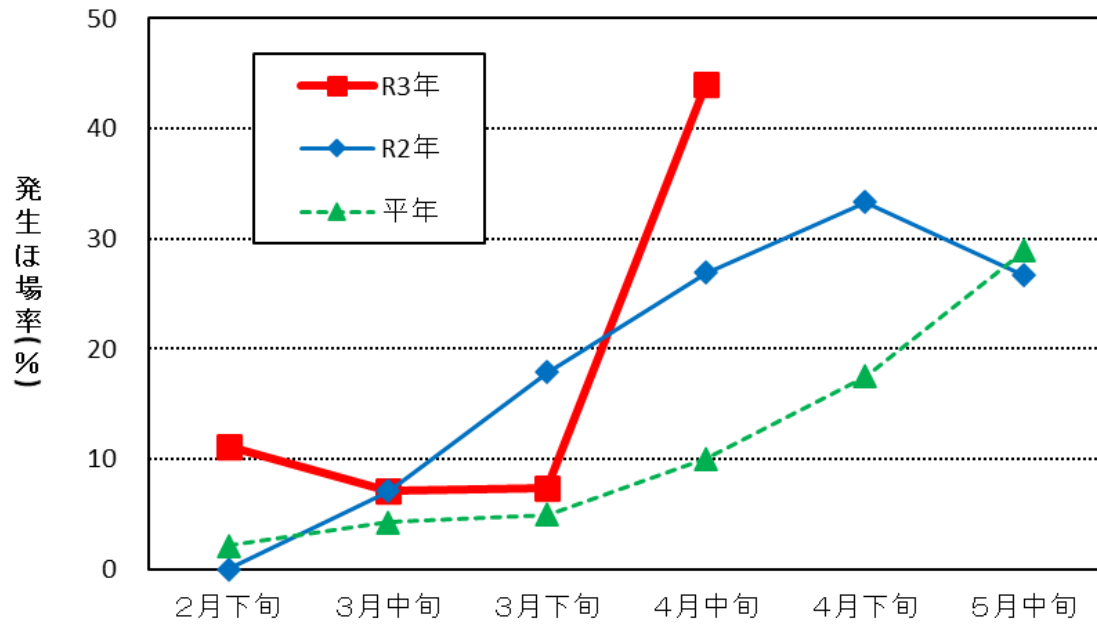


図1 タマネギべと病の発生ほ場率の推移

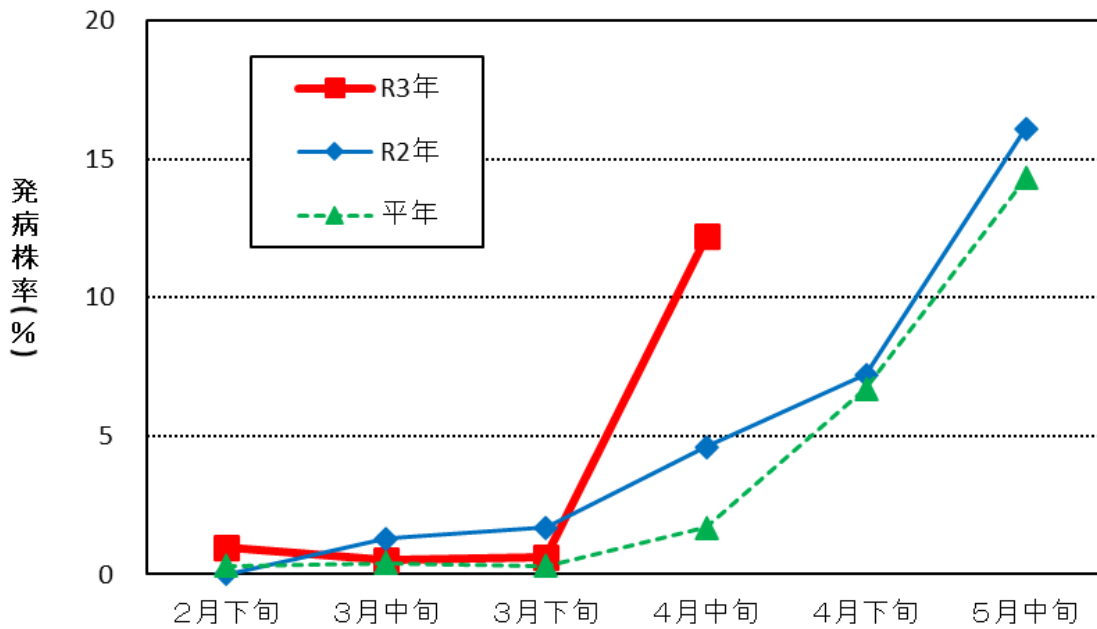


図2 タマネギべと病の発病株率の推移

表 タマネギべと病の主な薬剤一覧（令和3年4月15日現在）

系統	殺菌剤コード	一般名	商品名	希釈倍数・使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数
アミド	4 M05	メタラキシルM・TPN水和剤 3.3,32%	フォリオゴールド(普)	800~1000倍,100~400リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	メタラキシル及びメタラキシルM4回以内(但し、種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)、TPN6回以内
有機硫黄、アミド	M03 4	マンゼブ・メタラキシルM水和剤 64.3,8%	リドミルゴールドMZ(普)	500~1000倍、100~300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	マンゼブ5回以内、メタラキシルおよびメタラキシルM4回以内(但し、種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
アミド	7 M05	ベンチオピラド・TPN水和剤 6.4,40%	ベジセイバー(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	ベンチオピラド4回以内,TPN6回以内
ストロビルリン	11	アゾキシストロビン水和剤 20%	アミスター20フロアブル(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内
		ピコキシストロビン水和剤 22.5%	メジャーフロアブル(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	ピコキシストロビン3回以内
ストロビルリン	11 M05	アゾキシストロビン・TPN水和剤 5.1,40%	アミスターオプティフロアブル(普)	1000倍,100~400リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内,TPN6回以内
ストロビルリン、アミド	11 7	ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤 6.7,26.7%	シグナムWDG(普)	1500倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ピラクロストロビン4回以内(但し、定植前は1回以内、定植後は3回以内)、ボスカリド4回以内(但し、定植前は1回以内、定植後は3回以内)
ストロビルリン	27 11	シモキサニル・ファモキサドソン水和剤 30,22.5%	ホライズンドライフロアブル(普)	2500倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ファモキサドソン3回以内
—	21	シアゾファミド水和剤 9.4%	ランマンフロアブル(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	シアゾファミド4回以内
—	21 27	アミスルブロム・シモキサニル水和剤 17,30%	ダイナモ顆粒水和剤(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	アミスルブロム3回以内、シモキサニル3回以内
—	27 M05	シモキサニル・TPN水和剤 24,60%	ブリザード水和剤(普)	1200倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内,TPN6回以内
—	27 40	シモキサニル・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤 24,10%	ベトファイター顆粒水和剤(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内
—	29	フルアジナム水和剤 50%	フロンサイド水和剤(普)	1000~2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	7回以内(但し、全面土壌混和は1回以内、苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内)
		フルアジナム水和剤 39.5%	フロンサイドSC(普)	1000~2000倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	7回以内(但し、全面土壌混和は1回以内、苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内)
—	40 M05	ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤 5,50%	プロボーズ顆粒水和剤(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内,TPN6回以内
—	40 M05	ジメトモルフ・TPN水和剤 20,0,50,0%	カーニバル水和剤(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジメトモルフ3回以内,TPN6回以内
アミド	40	マンジプロバミド水和剤 23,3%	レーバスフロアブル(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	マンジプロバミド2回以内
—有機硫黄	40 M03	ベンチアバリカルブイソプロピル・マンゼブ水和剤 3,75,70%	カンパネラ水和剤(普)	750~1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内,マンゼブ5回以内
アミド	43 28	フルオピコリド・プロバモカルブ塩酸塩 5,5,55,5%	リライアブルフロアブル(普)	500倍,100~300リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	フルオピコリド3回以内、プロバモカルブ塩酸塩 2回以内
アミド	43 40	フルオピコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤 33,12%	ジャストフィットフロアブル(普)	3000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	フルオピコリドは3回以内、ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内
—	45 40	アメクトラジン・ジメトモルフ水和剤27,0%,20,3%	ザンブロDMフロアブル(普)	1500~2000倍、100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	アメクトラジン3回以内、ジメトモルフ3回以内
—アミド	49 40	オキサチアピブリン・マンジプロバミド水和剤 2,7,23%	オロンディスウルトラSC(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	オキサチアピブリン2回以内、マンジプロバミド2回以内
—	U17	ピカルトラゾクス水和剤 5,0%	ピシロックフロアブル(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	ピカルトラゾクス3回以内
銅	M01	銅水和剤 58%	Zボルドー(普)	500倍,100~300リットル/10a	—	—	散布	—
		ノニルフェノールスルホン酸銅水和剤 40%	ヨネボン水和剤(普)	500倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅5回以内
有機硫黄	M03	マンゼブ水和剤 80%	ジマンダイセン水和剤(普) ペンコゼブ水和剤(普)	400~600倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	マンゼブ5回以内
—	M05	TPN水和剤 40%	ダコニール1000(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	6回以内	散布	TPN6回以内